

平成 21 年 10 月 29 日

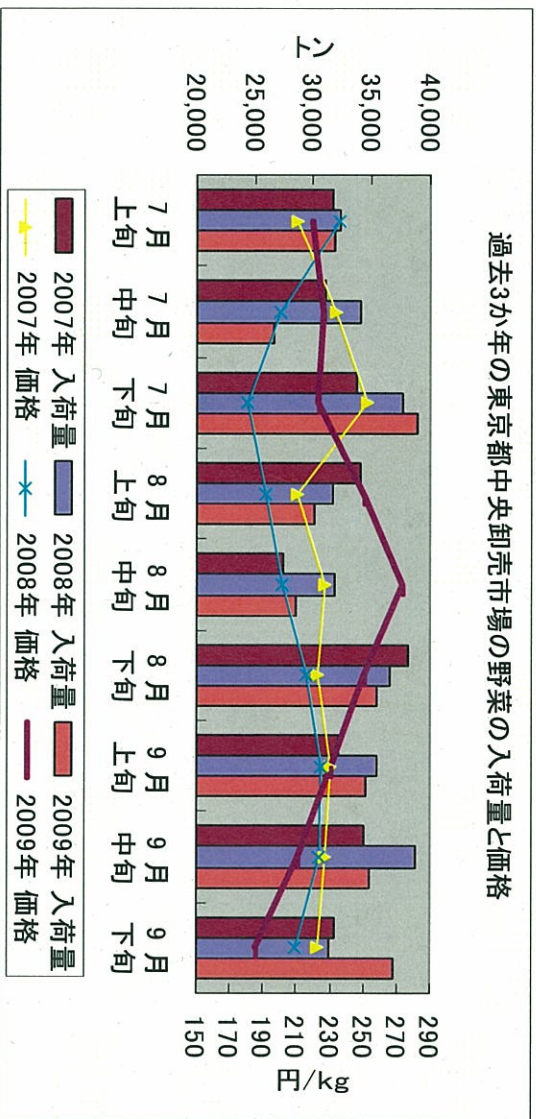
[第 5 回野菜需給・価格情報委員会資料]

平成 21 年夏期の野菜の状況と対応について

全国農業協同組合連合会

1. 平成 21 年夏期の野菜の価格について

(1) 7～9 月期の野菜の入荷量と単価の推移について



(2) 概況

ア. 7月の価格は、全体としては安かった前年を上回ったが、キャベツ (同 86%)、白菜(同 91%)などは前年を下回った。

イ. 7月末以降、梅雨明けが大幅に遅れ、全国的に長雨および日照不足などの影響により、8月中旬にかけて価格が上昇した。

エ. 7・8月に高かった品目：たまねぎ (前年比 7月 147%、8月 182%)、ばれいし
 ぶらお類 (同 139%、174%) など

ウ. 8月後半からは天候も順調に推移し、出荷量の回復もあり、価格は下落傾向となった。

2. 価格低落への対応について（白菜・キャベツの対応について）

(1) 7月の状況

ア. 白菜

(ア) 主産の長野県産は、昨年が遅れ気味のスタートで6月は平年より少ない出荷量だったが、今年は平年並みのスタートとなり、7月に入っても引き続き順調な出荷となった。

(イ) 7月の価格は、上旬は52円（キロ当たり、以下同様）、中旬に入り出荷量は落ち着いたが価格は60円と、過去の平均価格（82円）を下回って推移した。

イ. キャベツ

(ア) 群馬県産（群馬県本部）の出荷数量は7月13日の週は日量10kg換算で15～16万ケースで推移。21日の週の後半には日量10kg換算で20万ケース前後の出荷となり、その後も日量20万ケースを越える出荷が続いた。

(イ) 7月の価格は、上旬65円、中旬60円、下旬66円と、過去の平均価格（74円）を下回って推移した。

(2) 主な対応

ア. 消費拡大に向けた取り組み

(ア) 集中店頭宣伝：7/4～8/2まで緊急宣伝を含む 述べ400店舗（長野 白菜）

(イ) 関東、中京地区の主要量販店店頭でのフェアおよび新宿高島屋での無償配布（群馬 キャベツ） など

イ. 野菜需給協議会幹事会での状況報告（平成21年7月21日）

ウ. 緊急需給調整事業の発動

(ア) 品目：白菜

(イ) 実施日：平成21年7月下旬

(ウ) 対象市場：関東ブロック及び近畿ブロック

（単位：トン）

県団体名	緊急出荷調整計画数量	実施数量		
		有効利用用途	土壌還元	計
全農長野県本部	1,125	0	1,119	1,119

内訳：関東ブロック 721.4トン、近畿ブロック 397.6トン

* キャベツについては、事業発動は実施しなかった。

